

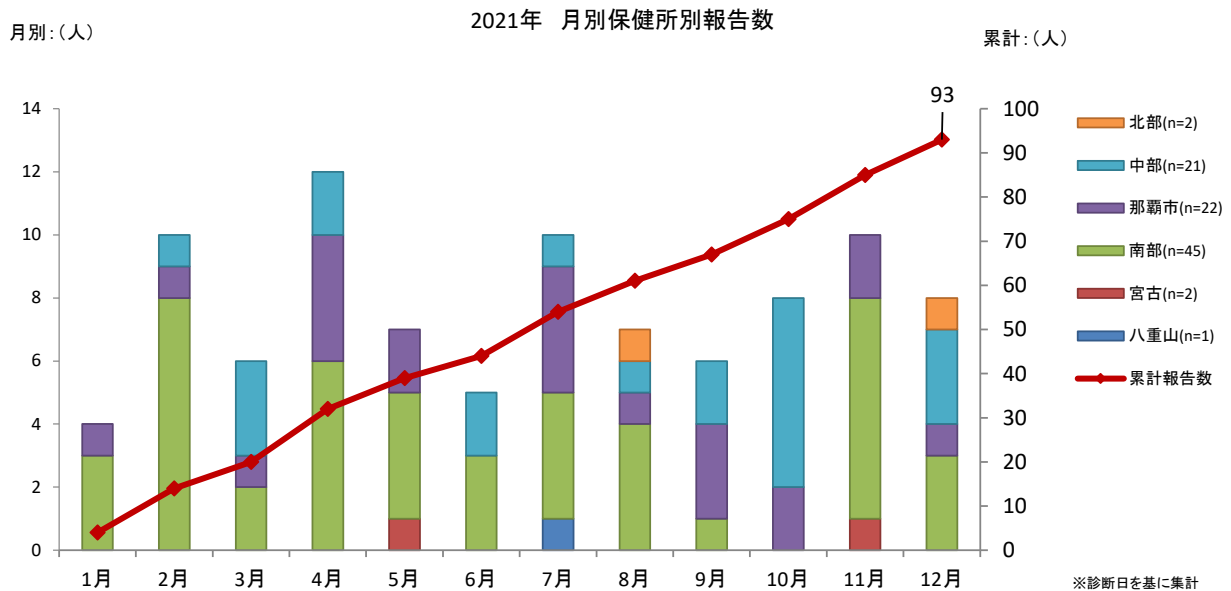
※2021年の報告数は暫定値です。

梅毒の発生動向【沖縄県：2021年】

沖縄県感染症情報センター（沖縄県衛生環境研究所）

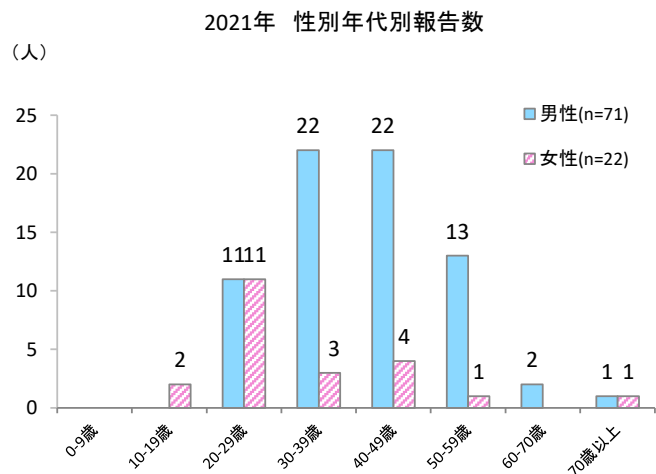
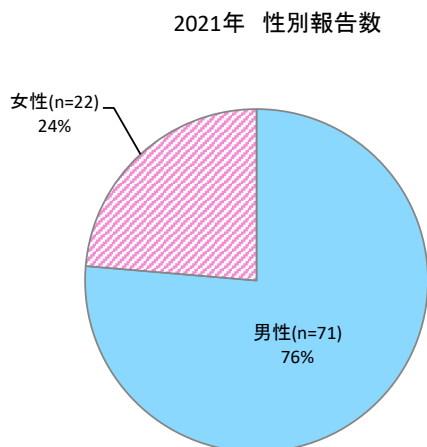
(1) 月別保健所別報告数

- ・2021年の報告数（暫定値）は93人で、感染症法による全数報告が義務づけられた1999年以降、過去最高となっています。
- ・保健所別届出受理数の内訳は、南部が45人と最も多く、次いで、那覇市が22人、中部が21人、北部と宮古が各2人、八重山が1人となっています。



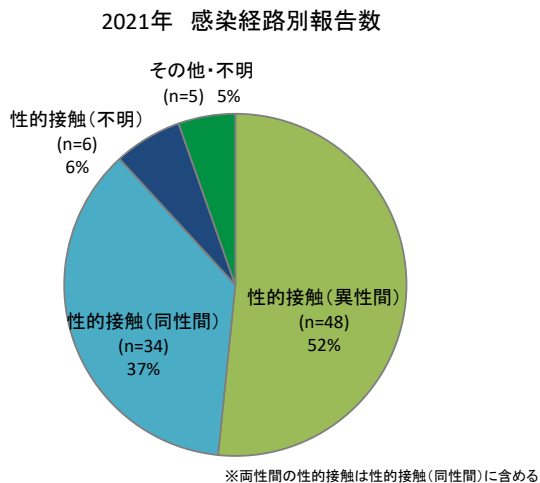
(2) 性別年代別報告数

- ・男性が76%と全体の約3/4を占めています。
- ・男性は20～40代、女性は20代での報告が多く見られます。



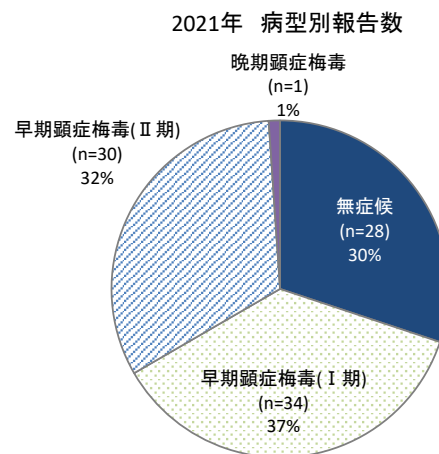
(3) 感染経路別報告数

- ・感染経路の95%が性的接触です。
- ・性的接触のうち、異性間は48人(52%)、同性間は34人(37%)となっています。



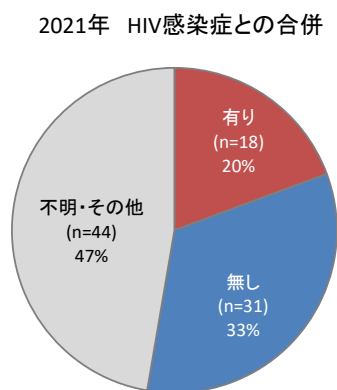
(4) 症状別報告数

- ・早期顕症梅毒(Ⅰ期)と早期顕症梅毒(Ⅱ期)で、全体の69%を占めています。
- ・先天性梅毒の報告はありません。



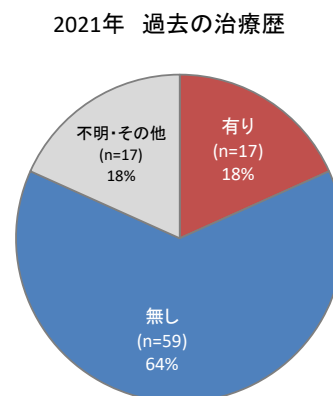
(5) HIV感染症との合併

- ・梅毒感染の報告者93人のうち、18人(20%)がHIV感染症と合併(重複感染)しているとの報告があります。



(6) 過去の治療歴

- ・梅毒感染の報告者93人のうち、過去の治療歴があるのは17人(18%)です。



(7) 妊娠の有無

- ・女性の梅毒感染報告者22人のうち、5人(23%)が妊娠しているとの報告があります。

